

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 102-8081
 住 所 東京都千代田区九段南1-1-10 九段合同庁舎
 氏 名 国家公務員共済組合連合会
 理 事 長 尾 原 榮 夫 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	国家公務員共済組合連合会		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		1,820 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	総務部総務課、管財・営繕部営繕課
		所在地	東京都千代田区九段南1-1-10 九段合同庁舎
		電話番号	03-3222-1841
		FAX番号	03-3222-3710
		メールアドレス	so-soumuka@kkr.or.jp , eizen@kkr.or.jp
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度～平成27年度（報告年度 平成26年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,410 t-CO ₂ (調) 3,407	(実) 3,483 t-CO ₂ (調) 3,480	(実) 3,448 t-CO ₂ (調) 3,445	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 3,407 t-CO ₂
削減率		(実) -2.1 % (調) -2.1	(実) -1.1 % (調) -1.1	(実) % (調)	(実) 0.1 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	ポンプの制御見直しにより年間約5.2t-CO ₂ /年の削減を行った。 フリーザーの新規増設により年間約3.0t-CO ₂ /年の増加、夏季の猛暑により電気使用量が年間1.6%の増加となった。 そのためCO ₂ の排出量は基準年と比較し2.1%増加した。
第2年度	負荷が少ない時間帯の温水1次循環ポンプを停止させ年間約0.4t-CO ₂ /年の削減を行った。 使用していなかった区画を使用するようになり、空調負荷として年間約19.7t-CO ₂ の増加となった。 そのためCO ₂ の排出量は基準年と比較し1.1%増加した。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○主要設備等の管理標準の定期的見直し、改善 ○コージェネレーション設備の効率管理 ○給湯設備の効率管理
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○主要設備等の管理標準の定期的見直し、改善 送水の必要がない箇所を季節ごとに切り離すことによるポンプ負荷の軽減を行い 年間約5.2t-CO ₂ /年の削減を行った。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○給湯設備の効率管理 負荷が少ない時間帯の温水1次循環ポンプを停止させ年間約0.4t-CO ₂ /年の削減を行った。
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地内の木々の維持管理を行う ・ 廃棄物の分別化の推進を図る。
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地内の木々の維持管理 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行った。 ・ 廃棄物の分別化の推進 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行った。廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い廃棄物の種類により分別を行った。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地内の木々の維持管理 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行った。 ・ 廃棄物の分別化の推進 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行った。廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い廃棄物の種類により分別を行った。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	3,684	t-CO ₂
(調)	3,652	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
虎の門病院分院	高津区梶ヶ谷1-3-1	8311	一般病院	3,684 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k1 未満	
300~400k1 未満	
200~300k1 未満	
100~200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--